

中国春季リーグ戦男子1部 First stage 結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

4/23、24 に岡山県備前市総合体育館において、男女1部 First stage が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

vs 島根大学

○3-0 (25-23、25-14、25-19)

vs 福山平成大学【棄権】

○3-0 (25-0、25-0、25-0)

vs 広島経済大学

○3-2 (19-25、25-18、25-19、29-31、15-8)

vs 東亜大学

●0-3 (16-25、22-25、16-25)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

福山平成大学が First stage 棄権となってしまう、目標設定が難しい状況でしたが、昨秋の怪我から復帰したレフトの河津、急遽のライトポジションでも存在感を見せた保坂、経大戦で不在の松本に代わってトスを上げ続けた西村紀、1年生ながらレシーブで盛り上げた水谷など、収穫が多い開幕週となりました。

キャッチの質が素晴らしい樋口、不動のオールラウンドセッター松本、2年生コンビの村上、高橋が固める盤石のセンター線から、エース稲葉を中心とするコンビバレーは、東亜戦であっても低身長ながら相手を苦しめることができていましたが、一方で、サーブが総じて弱く、細かいつなぎのプレーでも課題がたくさん残りました。

ジャンプサーブ、スパイクともに、助走で前に進む力がボールに伝わっておらず、空中で上半身の力だけで球を押し込む場面が目立ち、稲葉を始めとして身体に負担がかかり過ぎて

いました。今回は終盤の苦しい場面で落合や碓のピンチサーブがことごとく嵌りましたが、終盤でも、連戦でも、力強いパフォーマンスを発揮できるようになる必要があります。

コロナなどのアクシデントがなければ、2000年秋以来、22年ぶりとなる2位が視野に入ってきた以上、今秋のリーグ最終戦で東亜と戦うだけのチームに成長しなければいけません。リーグ最終戦の、両雄激突のあの雰囲気の中で、最高の結果を出すためには、秋になっていきなりできるようなものではなく、この春から経験値を積み重ねていくものです。来週末の福山平成大学戦は、秋の最終戦に向けても勝利が求められる一戦となりますので、GWでチーム状態を上げていきたいと思えます（勝間先生、池田先生、よろしくお願ひします）。

今週末は女子2部が行われます。

引き続きよろしくお願ひいたします。